

25-B (吉岡) 11

回覧

班長さん、班員の皆さんへ

令和3年度5月吉日

柳島自治会

令和3年度感震ブレーカー設置の件

会員の皆様には日頃、自治会の活動にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も市の都市政策課より感震ブレーカー設置費補助金のご案内が来ております。湘南まちじから協議会の協力のもと、まとまり次第市に申請いたします。

感震ブレーカーの設置（ご自身で設置）をご希望の方は添付資料をよく確認の上、申し込んでいただくよう、よろしくお願いいたします。

記

*添付の別紙資料より希望する感震ブレーカーを選び設置者名簿に記入してください。

*班名・氏名・住所・設置機器番号・個人負担額・電話番号の記入をお願いします。

*班長さんは取りまとめましたら設置者名簿をお近くの自治会役員、又は柳島自治会館、

海岸集会所のポストに提出をお願いいたします。

感震ブレーカーとは

地震時に「震度5強以上」の揺れを感知したときに、分電盤のブレーカーを作動させて電気を自動的に止める器具です。

主な感震ブレーカーの種類としては、分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプがありますが、本補助金では簡易タイプのみを補助金対象としています。

感震ブレーカー設置時の注意事項

感震ブレーカーが作動すると家屋内すべての電気が遮断されるため・・・

① 夜間避難時の照明の確保が必要

停電時に点灯する非常灯の設置や、寝室に懐中電灯等の常備が必要となります。また、家屋内の安全な避難路を確保するために、家具転倒防止を同時に行うことが必要です。

② 常時電源が必要な機器を使用している場合は、補助電源が必要

常時電源が必要な生命維持に関わる医療器具等を使用している場合は、確実に動作する補助電源が必要となります。

《ホームページ》

本冊子及び本冊子に掲載されている申請書類は、ホームページからダウンロードができます。



● 茅ヶ崎市ホームページからの場合

<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/index.html>

【茅ヶ崎市ホームページ】⇒【市政情報】⇒【まちづくり】

⇒【都市防災（防災まちづくり）】⇒【感震ブレーカー等設置費補助金のご案内】

● 「感震ブレーカー等設置費補助金のご案内」へ直接アクセスする場合



携帯サイト
QRコード

<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/1007927/1034073.html>

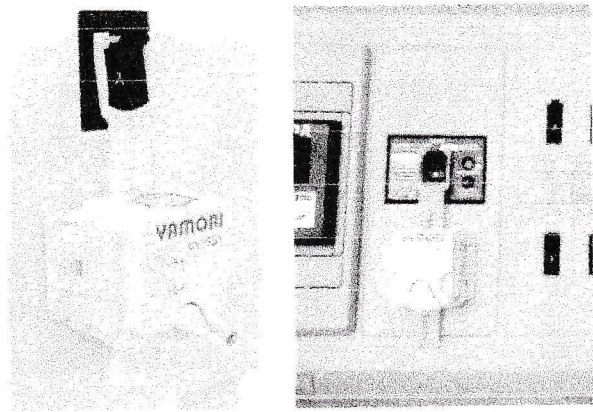
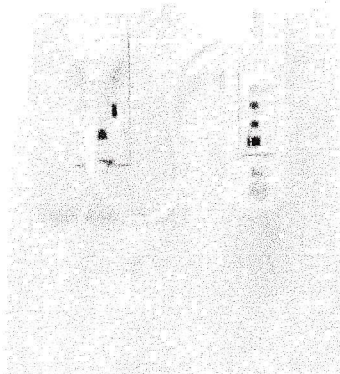
🔧 設置費用について

(1) 感震ブレーカーの費用は市の補助金 2 / 3 (上限 3,000 円)、自己負担が 1 / 3 となります。

🔧 設置についての注意事項

- (1) 分電盤の状況やアース付きコンセントがあるかなど、ご自宅の状況を確認の上、設置機器を選んでください。
- (2) 基本的に、感震ブレーカーはご自身で設置していただく必要があります。
- (3) 生命維持に関わる医療器具を使用されている場合は、設置できない場合があります。
- (4) 夜間に作動すると家屋内の電気がすべて遮断され真っ暗になるため、設置にあたっては、停電になっても点灯する非常灯や懐中電灯の備えが必要です。

【機器の例】

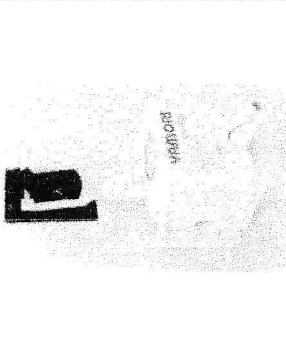
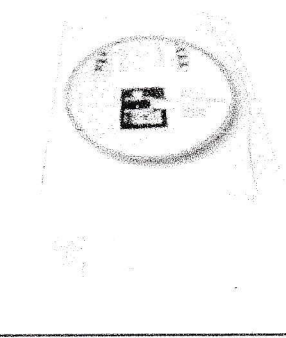
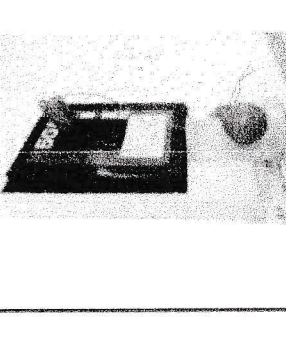
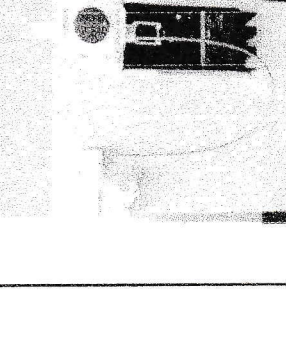
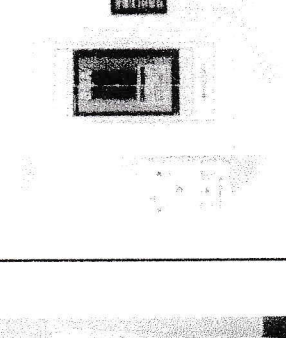
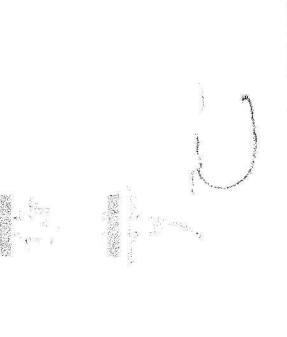
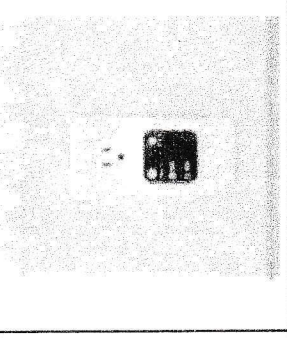
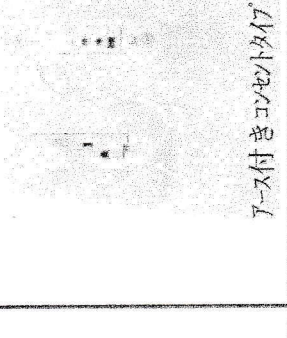
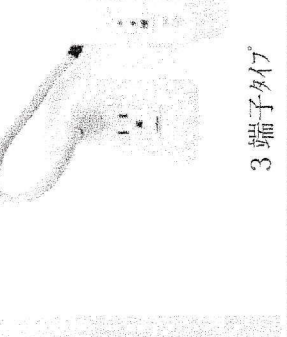
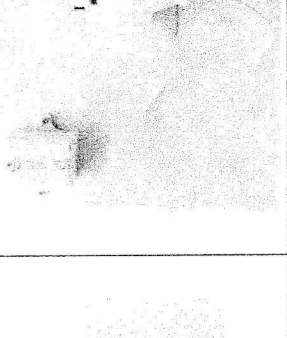
機器名	ヤモリ、まもれーる	ki 感震センサー(アース線タイプ)
画像		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 地震を感知直後にバネの力でブレーカーを作動させ、電気を遮断。 🔧 本体を分電盤に直接両面テープで設置。 🔧 蓋つきの分電盤に設置した場合は、蓋が閉まらない可能性がある。 🔧 最も安価な機器。 	<ul style="list-style-type: none"> 🔧 地震を感知後、赤色ランプが点滅し 3 分後に、擬似漏電により漏電ブレーカーを遮断。 🔧 本体を壁にネジで設置し、アース線コンセントにさす。 🔧 漏電ブレーカーがない場合は設置不可。 🔧 コンセント(アース線付き)に取り付ける。
税込価格	2,750 円	5,445 円
負担額内訳	自己負担 950 円 補助金 1,800 円	自己負担 2,445 円 補助金 3,000 円

※上記に示す機器以外にも、補助対象の機器がありますので、詳しくは「別紙 感震ブレーカーの種類」をご覧ください。

🔧 設置を希望する世帯は、自治会で取りまとめて申請を行うため、とりまとめ表へ氏名、住所、電話番号、設置機器、自己負担額をご記入ください。

🔧 機器のお渡しは、令和〇年〇月以降になります。

別紙 感震ブレーカーの種類

対象機器名	①ヤモリ、まもれーる	②ヤモリ・デ・セット	③スイッチ断ポールⅢ	④パワーヤモリセット	⑤ピオマ	
姿 図						
特 徴	バネの力でブレーカーを自動的に遮断。分電盤本体に設置したふた付の分電盤に設置した場合、ふたが閉まらなくなる。	ふた付きの分電盤に対応した製品。分電盤から離れた箇所へ本体を設置。ワゴン一体のため、ヤモリ単体より高価。設置がやや難しい。	おもり玉の落下によりブレーカーを自動的に遮断。分電盤本体またはその付近に設置。水平に設置し、ひもが落下時に引っかからないようにする必要がある。	①や②では遮断できないアンペアブレーカー(容量が大きい=75A以上のものやブレーカーのレバーが硬いもの、レバーの移動距離が長いもの)へ対応可。	遅延遮断機能を有し、揺れを検知後3分後にブレーカーを遮断。ピオマは分電盤本体へ設置。	遅延遮断機能を有し、揺れを検知すると疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。アース付コンセントに取り付ける。
参考価格(税込) (負担額内訳※)	2,750円 (自:950円,市:1,800円)	5,500円 (自:2,500円,市:3,000円)	2,750円 (自:950円,市:1,800円)	8,250円 (自:5,250円,市:3,000円)	10,780円 (自:7,780円,市:3,000円)	
対象機器名	⑥地震みはりロボ	⑦震太郎	⑧9ki 感震センサー	⑩一発遮断		
姿 図						
特 徴	遅延遮断機能を有し、揺れを検知後3分後にブレーカーを遮断。疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。アース付コンセントに取り付ける。	遅延遮断機能を有し、揺れを検知後3分後にブレーカーを遮断。疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。アース付コンセントに取り付ける。	アース付きコンセントタイプ 3端子タイプ			
参考価格(税込) (負担額内訳※)	20,000円 (自:17,000円,市:3,000円)	10,780円 (自:7,780円,市:3,000円)	5,445円 (自:2,445円,市:3,000円)	5,775円 (自:2,775円,市:3,000円)	4,180円 (自:1,180円,市:2,700円)	

※負担額内訳凡例 自：自己負担額 市：市の補助金額(感震ブレーカー税込本体価格の2/3(100円未満切り捨て、1個あたりの上限金額3,000円))

設置者名簿

湘南地区まちじから協議会

柳島自治会

No.	(班名) 氏名	住所	設置機器 番号	個人負担額	電話番号
例	38-A 柳島太郎	茅ヶ崎柳島1-3-8	③	950	38-1234
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					

設置機器番号

①ヤモリ、まもれーる

④パワーヤモリセット

⑦震太郎

②ヤモリ・デ・セット

⑤ピオマ

⑧⑨感震センサー

③スイッチ断ボールⅢ

⑥地震みはりロボ

⑩一発遮断